

令和元年度 事業報告書

(第9期)

一般社団法人グローバル人財サポート浜松

令和2年6月

在住外国人支援

1. 介護職員初任者研修

在住外国人を対象にした介護職員初任者研修を開講し、2名が修了。

第1期 令和1年6月9日～令和1年11月2日

土曜日 9:00～16:00

受講者 2名（いずれもブラジル出身）

2. 外国人技能実習生向け教育カリキュラム開発と出版（2017年～）**継続中**

技能実習生のための送り出し・受入れ教育カリキュラムを開発し、これから受入れを検討している事業所等に、そのノウハウを提供する。渡日前事前研修（160時間）にてN4相当の日本語能力が習得できる日本語テキストの開発を行う。令和2年6月末に出版。

協力；凡人社

年5回程度の合同会議とテキスト開発

介護の技能実習生向けテキストは令和1年4月に出版（日本医療企画）



3. 地域に資する日本語学校の社会的合意形成と日本語教育人材の育成カリキュラム開発事業（文化庁委託事業）**継続中**

浜松市ではボランティアの育成に努めてきているが、日本語教師の研修は特定の教材研究を対象としたものや単独学校での開催がほとんどである。こうした状況から、新設日本語学校と社会のステークホルダーを繋ぎ、教師間だけでなく組織間ネットワークを構築し、外国人への日本語教育の質の向上を目指した研修プログラムを開発する。またこれらの活動を通して日本語学校の社会的意義を明確にしていく道筋を作る。

内容は以下の通り

① カリキュラム開発検討委員会の開催：地域に資する日本語教育とは何か、平成 29 年度までに当法人が開発したステップアップシートを活用しながら、地域社会を構成するステークホルダーの連携によって明確化していく

②教材の開発：社会を俯瞰的に捉え時勢を読みながら在住外国人（留学生、技能実習生、労働者含む）の自己実現に努める日本語教育を行うことのできる人材の育成に寄与できる教材を開発する

③研修の実施：②を活用し、さらに OJT での実践を通して、地域現場のオペレーションを動かすことのできる人材にすべく研修を実施していく

④事業報告会の開催：本事業の総括と総評を踏まえ、さらに受講者である初任者教員のリカレント教育の一貫として報告会を開催する

事業期間 令和 1 年 5 月 30 日～令和 2 年 3 年 20 日

※うち、令和 2 年度は①～③を実施

連携機関 TLS 日本語学校、湘南日本語学園浜松校

4. 日本語教育

① 企業向け日本語教室

坂下製作所株式会社、平野ビニール工業株式会社、豊田通商株式会社、常盤工業株式会社にて従事している外国人労働者のための日本語教育を実施。今年度は新たに開発している日本語教材を活用し、短期でも確実に日本語能力を習得することができる工夫を行なっていく。また、企業の要望で、日本語能力試験合格を目標に、テスト対策や文化理解も行なっていく。

株式会社坂下製作所

毎週月曜日 17:15～18:45 全 3 期
(45 回)

平野ビニール工業株式会社

毎月 2 回 (全 24 回)

豊田通商株式会社 令和 1 年 5 月～

常盤工業株式会社 令和 1 年 6 月～



② 日本語能力試験対策講座（アイムジャパン）

静岡県にいる外国人技能実習生約 150 人を対象とした日本語能力検定試験対策講座を年 2 回（春・秋）に開催する。とりわけ、静岡県東部地域の外国人技能実習生向けには、日本大学国際関係学部で日本語教員養成課程を受講している大学生の現場視察研修とし、西部会場では、静岡文化芸術大学の学生の実習として講師アシスタントを体験できるようにした。

西部会場 研修交流センター 6月30日（日）、11月17日（日）

東部会場 プラサ ヴェルデ 6月23日（日）、11月24日（日）

5. 外国人労働者受け入れのための相談センター開設（浜松市委託事業）

外国人労働者の受け入れを想定している、すでに受け入れをしているが様々な課題を抱えている中小企業を対象に、在留資格に関することや受入れに際して生じている相談に対応する相談センターを設置。

期間 令和1年9月～2月 月2回（隔週水曜日）10:00～16:00

相談件数 19社

6. カエルプロジェクト（三井物産株式会社委託事業）

ブラジルより心理士の中川郷子氏を迎え、普段浜松市及び近郊地域でブラジル人子弟の支援を行なっている教職員や外国人相談員を対象に、異文化の中にいる子どもたちの教育支援と支援者としての心構えに関する研修を行った。

期間 令和1年9月30日（月）～10月1日（火）

参加者数 ポルトガル語研修 6名、日本語通訳付き研修 20名



7. 第一回多文化共生先進取組事例「体験塾」 in 静岡県浜松市（自治体国際化協会事業）

地域国際化推進アドバイザーによる講義、先進団体の視察、ワークショップ等を含む先進取組事例「体験塾」の実施により、地域国際化協会、市区町村国際交流協会職員等の施策の企画立案スキルの向上を図るとともに、研修参加者の相互交流によるネットワーク構築を図った。

期間 令和1年9月27日（金）～28日（土）



8. 関西経済連合会 視察ツアーコーディネート

関西経済連合会「グローバル人材と戦略」を基軸に協議をされている部会で、政策提言を行っていくための現場視察を行うため、高度人材やEPA、技能実習生、日系人を雇用している企業を訪問し、経営者との情報交換を行うためのコーディネートを行う。

期間 令和1年10月31日（木）～11月1日（金）

訪問先企業 パイフォトニクス株式会社、平野ビニール工業株式会社、リンクウィズ株式会社、聖隷福祉事業団和合愛光園



9. 外国人介護職員就業開拓コーディネート事業（静岡県介護保険課）

県内の介護事業所を対象に、外国人の介護ワーカーを受け入れるにあたり不安に感じていたり、悩んでいたりとすることなどを解消することを目的にコーディネーターを派遣し、課題解決をしていく。また、外国人介護職員の受け入れにあたり、事業所の現場の職員や管理職を対象にした講習に講師を派遣して、出張出前講座を行った。

期間 令和1年9月27日～令和2年3月18日

対象 県内の介護事業所（介護職員派遣業者は除く）

内容 コーディネーター派遣、出前講座への講師派遣

コーディネーター派遣相談件数： 40 件 出前講座依頼件数： 24 件



10. 静岡県大学コンソーシアム事業

静岡県内の高等教育機関に在籍する外国人留学生の就職活動支援の一環とし、企業と留学生のマッチングの一助とする。企業が事業紹介と「求める人材」についてプレゼンを行い、企業の採用の手順を説明した。また留学生と企業担当者との情報や意見交換の場として交流を深める機会を提供。

日時 令和2年2月15日（土）13:30～16:30

場所 The Garage of Startups

外国人留学生参加者数 計16人

静岡大学13人、浜松情報専門学校2人、浜松日本語学院1名

企業参加者数 計15人、4社

スズキ株式会社、ローランドディージー株式会社、リンクウィズ株式会社、パイフォトニクス株式会社



次世代育成事業

1. 学生ボランティアセンター事業（学生 FRESH 事業）

学生ボランティアセンターでは、浜松市内で社会貢献活動に励む大学生のボランティア団体を対象に、学生個人の知識や団体の質の向上を目指し、より良い浜松の未来のためにネットワークを構築し、課題や情報の共有を図った。静岡大学、静岡文化芸術大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、静岡産業大学の13団体が参加予定。年5回の会議とフォーラムを実施する。8月28～29日には静岡県内3か所（東部・中部・西部）の学生を一同に介する「100人合宿」を三ヶ日青年の家にて開催した。その学生ボランティアセンターの運営に携わる学生団体 FRESH の顧問として代表理事が携わるほか、当法人が学生 FRESH の活動支援を行う。学生ボランティアフォーラム 令和2年2月17日(月)

2. 学生団体支援事業

① Wide International Support In Hamamatsu (WISH)

外国につながる子どもたちが小学校への入学に適応するよう学校模擬体験を行う外国籍児童就学前学校体験教室「びよびよクラス」と就学後に小学校の授業に入り込み子どもたちの学校生活の支援を行う「SAT」を実施している学生団体（静岡文化芸術大学と浜松学院大学の学生により構成）の活動を指導・支援する。今年は佐鳴台小学校の1校のみで開催。2月中旬に大学生が学校体験を行い、1年生の授業に参加させていただき事前研修を行った。しかし、新型コロナウイルスの影響により、びよびよクラスの実施は中止となった。

② HANDs

浜松ダバオ友好協会と協働し、浜松から鍵盤ハーモニカをダバオ市の学校に寄贈し、音楽交流を深めるプログラムを実施。HANDs は浜松市内の大学に通う主に静岡文化芸術大学の学生たちによって構成。鍵盤ハーモニカの収集、音楽交流プログラムを企画運営するだけでなく、実際にダバオ市を訪問し、フィリピン文化を体感することを目的としてフィリピン研修を行

った。また、学校間の音楽交流ができるようインターネットを活用して、



両都市の学校をつなぎ、演奏会を開催。感謝状も授与された。

フィリピン訪問期間 令和2年2月20日(木)～2月27日(木)
音楽交流会 日本：浜松市立佐鳴台小学校 フィリピン：ダバオシティスペシャルスクール

協力 浜松ダバオ友好協会、ダバオ市、浜松市 他

③ 学生 FRESH

学生ボランティアネットワーク（浜松市委託事業）をコーディネートし、学生ボランティアセンター(FRESHひろば)の運営を行っている学生 FRESH の事業運営支援を行う。



④ 静岡大学地域創造学環フィールドワーク研修

静岡大学の学生を対象に行うフィールドワーク事業の一環で、同世代の外国人労働者の課題を取り上げ、その解決策を探る。これにより、物事を客観的に捉える力や事業を組み立てる力（企画力・計画力・交渉力）を養い、浜松の社会課題を多面的に捉え、社会にソリューションを行えることのできる人材育成を目指す。同世代の若者たちが集まる場所やイベントなどの情報の一元化を目指し、当法人のホームページ上で情報提供を行えるように活動を行った。

⑤ 静岡文化芸術大学日本語教師養成課程実習受け入れ

静岡文化芸術大学にて日本語教師養成課程を受講している学生の日本語教育実践（実習）の受け入れを行った。

令和1年6月～7月、10月～令和2年2月の2期。各15コマ。

その他、事業

1. 講師派遣事業

外国人介護人材受入れに関する講演や技能実習生を対象にした日本語教育に関する日本語教師研修、学校での国際理解講座、自治体・企業向け研修などに、講師を派遣する。

依頼元：浜松いわた信用金庫、静岡県西遠女子学園、株式会社篠研、秋田県国際交流協会、常盤工業株式会社、富塚中学校区健全育成会、アウトカムマネジメント研究所、安芸高田市国際交流協会、福山市、国際交流基金（三重県・浜松市「都市間連携サミット」）、浜松市（ベトナムセミナー）、Dream Job(ミャンマー)、静岡県、群馬県、高知県、岩手県

2. 視察受け入れ事業

専門家の調査研究や、大学院生の研究のために当法人の事業視察を受入れる。

自治体国際化協会、関西経済連合会、静岡県立大学、VIVA!おかざき

3. その他

① 情報提供事業

ホームページや Facebook を活用して、当法人の活動に関する様々な情報を提供し、法人の存在を周知していく。

雑誌や新聞の取材を受入れ、活動の意義や社会的課題を発信していく。

その他、法人として必要な事業については代表理事の判断のもと、必要な場合は理事に諮ることにより実施していく。

② 浜松ダバオ友好協会

これから受け入れを始めようとしているフィリピン出身の外国人材にとって、浜松市がより魅力的な街であるように、浜松ダバオ友好協会の設立に参画。静岡県行政書士会元会長である岸本敏和氏を理事長に、浜松市議員高林修氏を副理事長に迎え、大学や企業との連携を図っていく。今年はクラウドファンディングを行なったピアノの寄付を行えるように計画。しかし、新型コロナウイルスの影響で実施を中止した。